

消費生活センター情報

No.82

くらしの友より

強引な訪問購入に注意

『不要な品はありませんか。買い取ります』という電話を受け、訪問を承諾し、用意しておいたバッグを業者に見せたところ、『これだけです。指輪や貴金属はありませんか』と執拗に聞かれ、断りきれずに指輪やネックレスを安く売ってしまった。思い出の品で後悔しており、返してほしい』といった訪問購入に関する相談が多く寄せられています。

電話で「不要品を買い取る」と言われても、実際には高価な貴金属を目的としている場合があります。トラブルを防ぐためには、売る予定のない貴金属類の売却を迫られても、きっぱりと断ることが大切です。また、業者が来る際は一人では対応せず、家族や周囲の人に同席してもらおうと安心です。

なお、訪問購入にはクーリング・オフ制度が適用されます。法律により、業者から交付される書面を受け取った日を含めて8日以内であれば、無条件で契約を解除し、品物を取り戻すことが可能です。また、契約期間中は物品の引き渡しを拒否することも認められています。

もしトラブルが発生した場合は、お早めに消費生活センターへご相談ください。

消費生活センター(生活支援相談課内)

☎(582)1146 FAX(582)1138

新・クルちゃんの No.170

つぶやき

テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機を処分する方法は3つだよ。

出し方 下記のいずれかで処分してください。
 ※環境センターでは受け入れできません。

方法① 購入した小売店もしくは買い替えた小売店に自分で引き渡す

方法② 郵便局でリサイクル料金※を納付し、指定引取場所へ自分で直接搬入する

方法③ 郵便局でリサイクル料金※を納付し、指定引取場所までの運搬を市に依頼する

※リサイクル料金は品目により異なります。詳しくは、ごみカレンダー27頁をご覧ください。
 方法③の収集運搬料金は下記のとおりです。

エアコン
4,500円/台

冷蔵庫・冷凍庫
5,200円/台

テレビ
3,100円/台

洗濯機・衣類乾燥機
2,200円/台

ごみ減量推進課

☎・有(584)4692

FAX(584)4818

ごみ分別
アプリ
配信中!



iOS版



Android版

彫刻を支える縁の下の力持ち

佐川美術館「アートコラム」90

学芸員 佐川美術館
深井千尋



第58回のアートコラムでは絵画の引き立て役として縁を取り上げましたが、今回は、彫刻における引き立て役「台座」を紹介します。一部例外もありますが、多くの彫刻は台座に設置されており、台座には作品を支える、鑑賞しやすい高さに置く、見栄えを良くするなどの役目があります。

彫刻家・佐藤忠良は台座にこだわりを持っており、当館で屋内展示する佐藤のブロンズ像のために作られた木製の台座は、作者自ら指定したグレーに塗装されています。また、頭像をはじめとする小品の多くには、木製の台座と作品の間に石の台座が設けられています。佐藤の小品の台座には黒や赤の石が用いられる場合が多いのですが、女性が横たわり空を飛ぶ姿を題材にした《空よ》(1973年)の台座には、他とは異なるベージュの石が用いられており、台座を薄い色にして存在感を弱めることで作品の浮遊感が際立っています。

佐藤は、びわ湖大橋米プラザ(大津市)の《若い女・シャツ》(1982年)など、各地の野外彫刻も手掛けています。佐藤の野外彫刻は、赤い御影石の台座に設置されることが多いのですが、当館の野外彫刻は珍しく黒い石の台座に設置されています。黒い石の台座はモノトーンを基調とした美術館の外観によく馴染んでおり、台座の選択にも作者の美的感覚が表れています。当館で彫刻作品を鑑賞する際には、少し視点を変えて、作者こだわりの台座にも注目してみてください。

※開館情報は、佐川美術館ホームページでご確認いただくか、電話☎(585)7800でお問い合わせください。